

はじめに

長野県内では人骨と同様に遺跡出土獣骨についても多くの報告がされている。これらの研究はおもに信州大学医学部解剖学教室によって行われてきた。この蓄積は長野県内の多くの遺跡で行われており、私たちは古代の人びとがさまざまな動物を利用して生活していたことを知ることができる。

この資料を元にその後の研究結果を総合、集成することで時代的地域的な分布がわかり、長野県内の動物相の変遷を検証することができるようになる。また、古代人がどのように動物を利用して生活していたのかの実態が明らかにされてくる。動物考古学的知見も含め出土獣骨へのさらなる関心が高まることを期待したい。基礎資料として大いに活用されればと願うものである。

- 本リストは、遺跡の発掘調査で出土した動物骨の一覧を、遺跡別に分類したものである。
- 中間報告「長野県内遺跡出土動物骨集成について」『長野県埋蔵文化財センター年報』40号(2024年3月刊行)が掲載されているので、概要を知りたい方はこちらを参照されたい。
- 遺跡は、長野県を10広域(北信、長野、上田、佐久、大北、松本、木曾、諏訪、上伊那、飯伊)に大別し、さらに広域内の現在(2024年3月)市町村順にまとめてある。
- 文献一覧の「ID」及び備考内の「5ないし6桁の数字」いずれも長野県埋蔵文化財センター図書室の識別番号を示し、「No.」は本リストための遺跡識別番号である。
- この一覧表のもとになったデータには、いずれも遺跡出土古人骨情報同様に、文献と紐付けされた電子情報や検索システムとしても広く一般に公開予定である。
- 多くの誤謬や遺漏もあると思われるが、お気づきの方は、
櫻井 (hsak@dokkyomed.ac.jp) あるいは川崎 (kamo-sikamiti@nifty.com) までご連絡下さい。

この資料の取りまとめにあたり、多くの方々からの助言やご助力を賜った。長野県埋蔵文化財センター図書室資料の検索、整理には坂田恵美子さんに多大なご協力をいただいた。データ整理に際しては獨協医科大学技術員筒井 蓮氏に尽力いただいた。この場を借りて厚く御礼申し上げる。

なお、本集成及び研究には令和5年度長野県科学研究助成金の成果を含む。

櫻井秀雄 茂原信生 本郷一美 川崎 保

令和6年5月31日